

蝶事蹟

〔三代實錄清和十六〕貞觀十六年八月丁巳朔伊勢國上言略中蝗虫或化蝶去

〔大和名所圖會高市郡〕菩提寺緣記曰橘寺の西方より金色の蝶とび來りて講堂の柱に羽うちやすめとまりしばしして飛さりぬ其跡をみれば一首の和歌を喰付たり

新古今 菩提寺の講堂のはしらにむしくひたる歌

しるべある時にだにゆけ極樂の道にまどへる世中の人

〔帝王編年記高倉十二〕治承二年八月叡山坂本粉蝶如雨降高雄寺魔滅之時如此云々

〔發心集〕佐國愛華成蝶事

或人略中人ノ家ヲカリテ且ク立入タリケルガカクテ其家ヲミレバツクレル家ノイト廣モ非

ヌ庭ニ前栽ヲエモイハズ木共ウヘテウヘニ假屋ノカマヘヲシツ聊カ水ヲカケタリケリ色

色ノ花カズヲツクシテ錦ヲ打オホヘルガ如ク見エタリ殊ニサマくナル蝶イクラトモナク

遊アヘリ事サマノ難有覺エテワザトアルジヲヨビ出デ此事ヲ問フアルジノ云様是ハナホ

ザリノ事ニモ非ズ思フ心アリテウヘテ侍ベリオノレハ佐國ト申テ人ニシラレタル博士ノ子

ニテ侍ベリ彼父世ニ侍リシ時フカク花ヲ興ジテ折ニツケテ是ヲ翫ビ侍リキ且ハ其心ザシヲ

バ詩ニモ作レリ六十餘國見レドモ未アカズ他生ニモ定メテ花ヲ愛スル人タランナド作り置

テ侍ベリツレバ自ラ生死ノ會執ニモヤ罷成ケント疑シク侍リシ程ニアル者ノ夢ニ蝶ニ成テ

侍ルト見タル由ヲ語侍レバ罪深ク覺エテ然ラバ若コレラニモヤマヨヒ侍ルラムトテ心ノ及

ブ程ウヘテ侍ル也其レニトリテ唯花バカリハ猶アカズ侍レバアマヅラ蜜ナドヲ朝ゴトニソ

ギ侍ルトゾ語リケル

〔明月記〕天福元年五月十八日壬戌或人云自四月廿八日至五月三日日吉社頭蝶雨降如ケル

〔榮花物語三十二〕かねのすはまに沈をませゆひたるかねのとこなつのくさむらをかきたり歌

蝶雜載